



町内全域で清掃ボランティア リアスクリーン作戦

黒崎パーキング周辺



志津川漁港周辺



臨港道路



水尻川沿い

※リアスクリーン作戦は、平成5年8月22日に「われらみやぎ東北学おこし」事業の一環として行われ、以来、旧志津川町で毎年（平成8年7月20日に「海の日」が創設してからは海の日の頃に）実施され、今回が14回目となりました。
※地域によっては、別の日に実施されました。

7月16日（日）午前6時から町内全域でリアスクリーン作戦が行われ、たくさんの人たちが、ポイ捨てされたゴミの回収作業にあたりました。海岸や道路、川などから集まったごみは、2.6トンにもなりました。
集まったごみは、クリーンセンターで燃えるごみ燃えないごみの確認や、空き缶などをリサイクルできるように仕分け作業を行いました。

伊里前川の生き物調べ

7月12日（水）、伊里前小学校の児童全員が参加して「伊里前川の生き物調べ」が行われました。

最近の子どもたちは、川で遊ぶなど自然とふれあう機会がだいぶ少ないようですが、この調査の中で、身近な伊里前川の生き物を見つけたり手に取ったりしながら、自然を守ることの大切さを学んだようです。

今後、伊里前小学校では「伊里前川の生き物調べ」の結果や、地域の自然や生き物を守っていくためにはどうしたらいいのかを、全校児童で話し合い、まとめる予定です。



東北大学の知識を活かして 産業おこしを

7月10日（月）、「第1回先端情報講演会」が役場大会議室を会場に行われました。この講演会は、町内の有志で組織するサンライズクラブが、地域の発展などを目的に、町の「ふるさとまちづくり・ひとづくり創出事業」の助成を受けて実施したものです。

講師は、東北大学客員教授で産学官連携推進本部副部長の高橋富男氏で、「地域発展のために～東北大学の地域連携推進状況」と題して、東北大学の地域産業振興策などの講演を行い、新産業の創出、大学の知恵の活用法などを紹介しました。

この講演会は、今後も開催される予定です。

